



第98号
(発行所)
 真宗大谷派
松岡山廣讚寺
 中村区城屋敷町3-30
 TEL (052) 411-5301
 FAX (052) 411-5341
 携帯 090-1568-4623
<E-mail>
 matsuoaka@kosanji.or.jp

通じない会話

昔聞いたラジオの投稿でこんな話があった。
 ある主婦が、旦那の代わりに痔の薬を買いに薬局へ
 行ったときの話。

欲しい薬が見当たらず、ベテランそうな薬剤師さん
 に相談する。

「旦那に頼まれて痔の薬を買いに来たのですが…。」
 するとその薬剤師さんは、薬の名前を聞いて、

「それならあります。今倉庫から出してきますので、ど
 うぞこちらの椅子におかけになってお待ちください。」
 気回しの良さに主婦は感心して、出された椅子に座
 ろうとした。その時である。椅子の上にドーナツ型の
 座布団が敷いてあるのが目に止まった。それにピーン
 と来た主婦が言った。

「あの、私じゃなくて旦那の代わりに来たんです。」
 そう言うと即座に薬剤師は、

「いやいや、いいんです、いいんです。みんなそうい
 うんです。でも、別に恥ずかしい事ではありませんから。
 」
 ウンウンと頷く薬剤師。主婦は必死に弁明するのだ
 が、薬剤師さんは取り合おうとしない。
 大丈夫ですよ。安心してください。分かっています
 から。

そんな態度に業を煮やしたのか、主婦はついに語気
 を強めて、
 「本当に違いますから！」
 と言うと、

「分かりました、分かりました。」
 そういうことになっておきますよ、もう、素直じゃな
 いんだから(笑)というような顔で奥へ薬を取りに行っ
 たそうだ。

そして、薬剤師が薬を持って戻ってきたときに、主
 婦は、いつそのことで裸になって見せてやりたい
 などと悔しい思いにかられながら、薬を買ったそうだ。
 そして、この主婦はもう二度と旦那の代わりに痔の
 薬を買わない！と決めたという。

この話を聞いて私は思った。
 真実というものは、真剣に語れば語るほど遠ざかっ
 ていくものなのかもしれない、と。

くしゃみ

そろそろ花粉症もおちつきましたか。

ところで、「くしゃみ」の語源を知っていますか。

誰に聞いたかは忘れましたが、くしゃみという言葉はインドから伝わったものだそうです。

今からおよそ二千六百年前、お釈迦様がいた頃のインドでは、くしゃみをするとう寿命が縮むという迷信が流行っていたのですね。でも、誰でもくしゃみぐらいするわけで、そんなことで本当に寿命が縮んだら堪らないので、ちゃんと寿命が縮まないためのおまじないがありました。どういうおまじないかというと、くしゃみをした後すぐに「クサンメ」という呪文を唱えれば、寿命が縮まるのを防ぐことができるかと信じられていたそうです。この「クサンメ」が仏教とともに日本に伝わって「くさめ」となり、言葉が訛って「くしゃみ」となったのです。

お参り先でそのようなことを話していた時のこと。

その奥さまが「そういうえば、くしゃみの話を聞いて思い出したのですけど」と仰って、先日、友人の旦那さんが亡くなって、その葬儀で聞いた話をしてくださった。

亡くなった旦那さんと喪主の奥さまは、何年も前から小鳥を飼って可愛がっていたそう。この小鳥、人の声を真似て覚える品種だったようで、夫婦でこの小鳥に言葉をいろいろ覚えさせようとしていたそう。

ところが、小鳥の出来が悪いのか教え方がマズかったのが、教えようとしても全くその通りに鳴かなかつたそう。しかし、そんな小鳥が一つだけ覚えた言葉があった。

それは何かというと、旦那さんがくしゃみする「ハックション！」の声

その話を聞いたお参り先の奥さまは、葬儀の場で思わずクスリと笑ってしまったそう。

なぜ旦那さんのくしゃみだけ覚えたのか。ハッキリとは分からないが、教えようとせずとも毎日の生活で小鳥が自然と覚えてしまったことは確かだろう。

喪主の奥様の話は続けて、旦那が亡くなってからも毎日、小鳥の鳴き声で旦那のくしゃみを聞いているのよ、と嬉しそうに話していたという。

その話を聞いて、有り難い話を聞かせてもらったと感じた。旦那さんがいたときは小鳥の鳴き声なんて何とも思わなかっただろうけど、今はくしゃみの声さえも愛おしいのだろうか。

蓮如上人御影道中

四月十七日に同朋会で京都へ団体参拝しました。真宗本廟に到着したら、グッドタイミングで蓮如上人の御下向式が行われており、本山を出発するところでした。

た。蓮如上人の御影が吉崎別院へリヤカーで運ばれます。六日間で吉崎別院まで歩いていきます。そして吉崎で法要後五月二日に現地を出て五月九日に本山に戻ってきます。





四月十七日 同朋会旅行、真宗本廟にて

行事予定

五月五日(祝) 復興永代経執行

午前十時より おつとめ おとき

説教 荒山 優師

午後は特別プログラムとして有志による詩吟・民謡・舞踊など廣讚寺一座による演劇もあります

五月十四日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(木) 二時～四時 学習会

二十八日(土) 十時～二十八日講・女人講

六月十一日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(日) 二時～四時 学習会

二十八日(火) 十時～二十八日講・女人講

二十組行事

六月八日(水) 午前六時 暁天講座

講師 田代俊孝 先生

場所 西区栄生 法敬寺